

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和4年11月23日

アンケート期間:令和4年11月1日～令和4年11月15日

事業所名 とも発達支援きのね ironoha

保護者等数(児童数) 27 回収数 25 割合 92 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	4		5	福祉関係の人手不足の中でもよくしてもらっている	社外研修への出席、定期的な社内研修を継続し、専門性を高めていけるよう努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	2		8		バリアフリー化については必要性に応じて対応を検討します。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	22	2		1	視覚支援や見通しの持てる声掛けなど対応してもらっている	日頃から保護者としっかりコミュニケーションをとり、ニーズや課題の把握に努めています。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	18	4	1	2		様々なイベントを子どもと一緒に考えていきます
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	2	2	15	小学校の同学年や伊学年の子との交流があれば	児童館や、地域のイベントに参加する機会を作っています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	1	2			送迎時だけでなく、メールやお電話で日々の様子をお伝えしていくよう努めます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	2		1		モニタリング時の面談以外でも、気軽に相談できる場の提供をしています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21			4		2か月に1度、きのねカフェという交流会を開催しています。より多くの方が参加しやすいよう工夫していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	2		4		保護者からの相談や申入れについて対応が遅くなってしまったことがあったので、迅速に対応できるよう気を付けていきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1	1	2		送迎時や迎え時にお話する時間がとれない時は、電話やメールでお伝えするよう努めます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	1		2		今後も継続して発信していきます。
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	23	1		1		個人情報の取り扱いが適正になされているか定期的に話し合い、確認をしています。
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	2		9		契約時に各種マニュアルについても説明していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1		8		訓練は定期的に行っていますが、どのような訓練を行ったかをしっかり周知していきます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	22	3			いつもとても楽しみにしている	お子さんが安心して楽しく通える場所になるよう職員一丸になって支援していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	21	3	1		職員や友だちとの関わりが少しずつ成長しているように思う	皆さんに満足して通っていただけるよう、日々努力して参ります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。